

東京都の地形 Topography of Tokyo

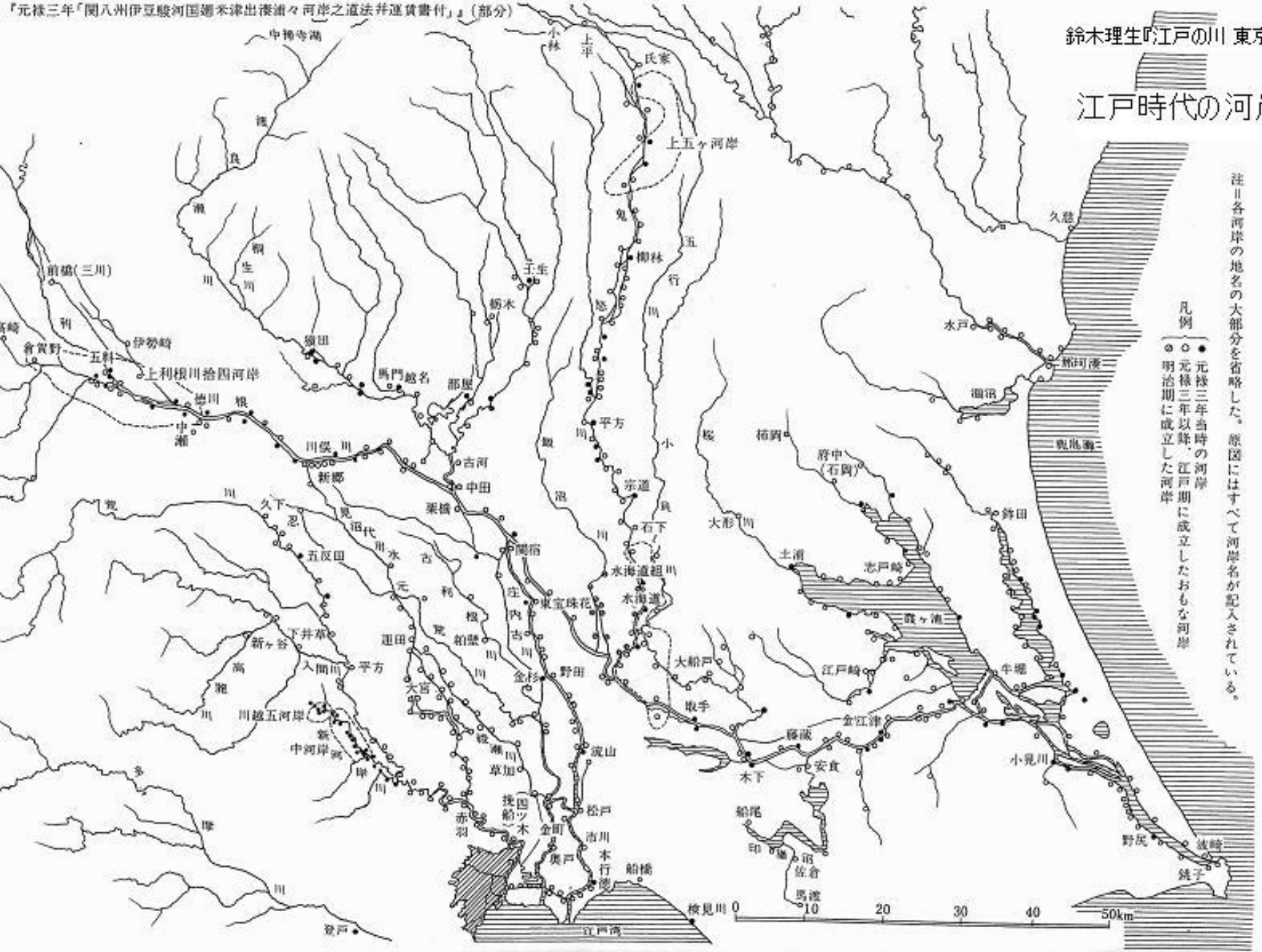
低地 台地 丘陵 山地

† 禁複製 『アトラス東京 地図でよむ江戸～東京』正井泰夫、平凡社、1986年

†: このマークが付してある著作物は、第三者が有する著作物ですので、同著作物の再使用、同著作物の二次的著作物の創作等については、著作権者より直接使用許諾を得る必要があります。

『元禄三年「関八州伊豆駿河国通米津出漕浦々河岸之道法并運賃書付」』(部分)

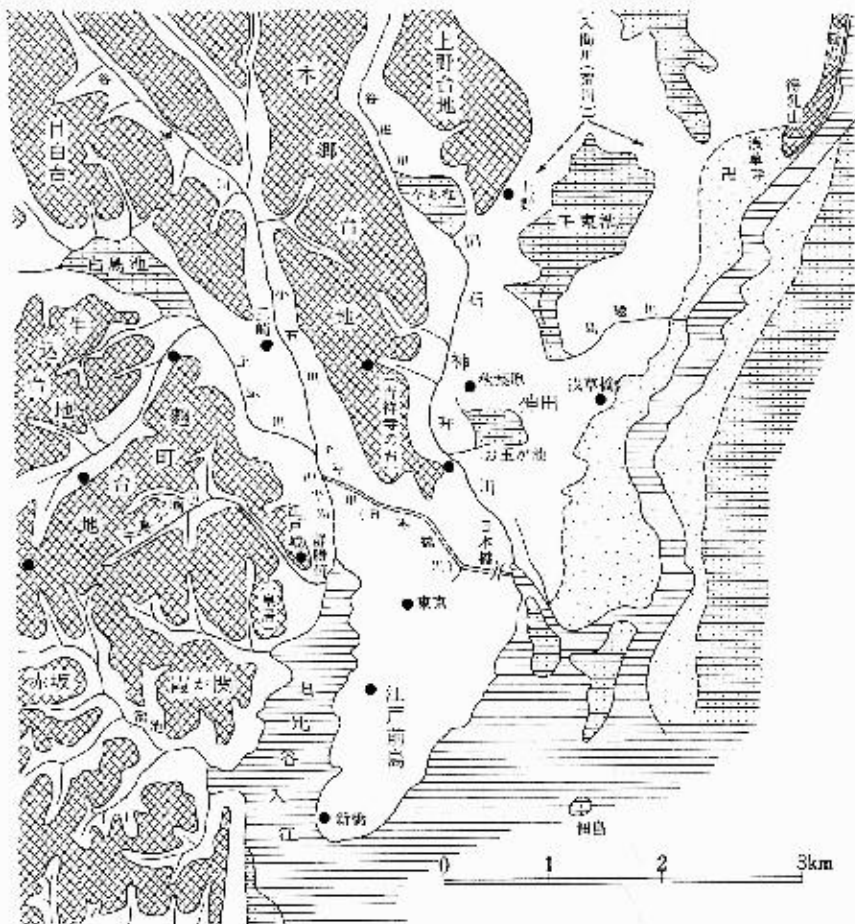
鈴木理生『江戸の川 東京の川』より
江戸時代の河岸と川



注1 各河岸の地名の大部分を省略した。原因にはすべて河岸名が記入されている。
凡例
● 元禄三年当時の河岸
○ 元禄三年以降、江戸期に成立したおもな河岸
○ 明治期に成立した河岸

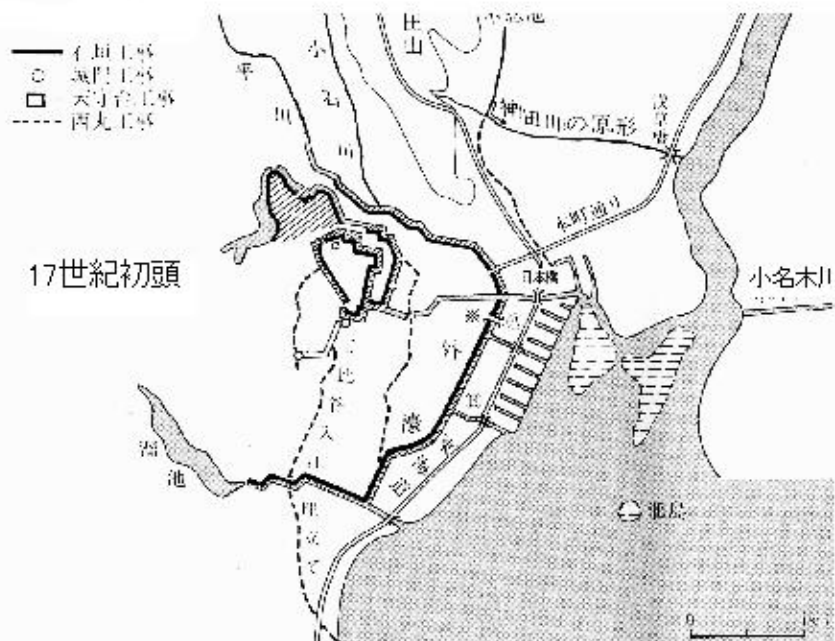
鈴木理生『江戸の川 東京の川』 井上書院 (1989年)- v. 江戸を支えた河岸 図29「関東の湊」

江戸の形成

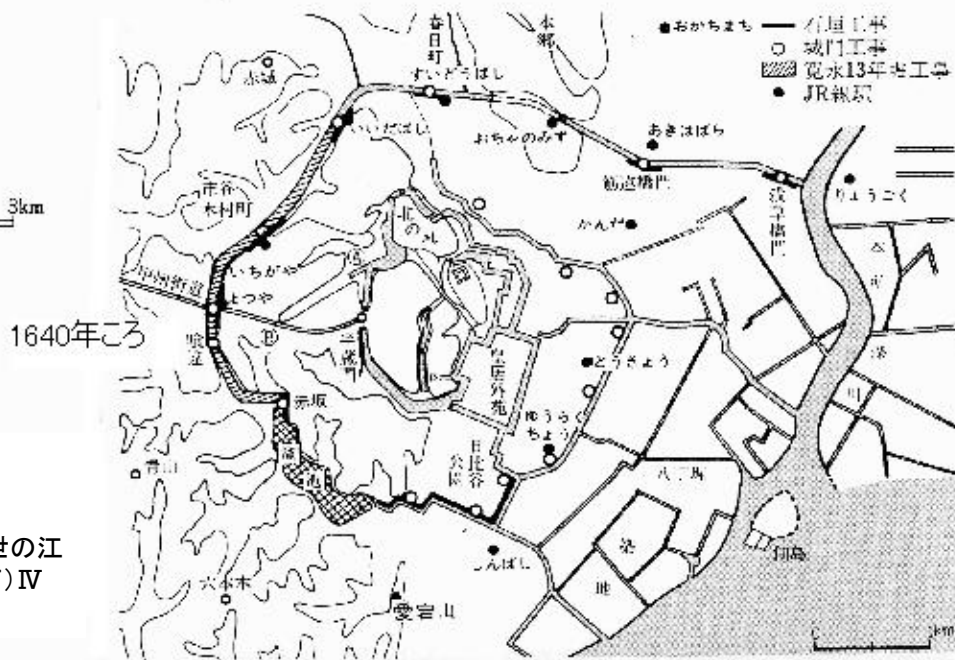


- 武蔵野台地
- 自然気候により陸化した土地
- 洲または陸化しつつある低湿地
- 新造地
- 平川つげかみ流路と日本橋

道灌時代の江戸湊 (15世紀)



17世紀初頭



1640年ころ

※鈴木理生『江戸の川 東京の川』井上書院 (1989年)-
 (左)Ⅲ中世の江戸湊 図14道灌時代の江戸湊、(右上)図22江戸前島の改造、(右下)Ⅳ近世江戸城の成立 図26 改変

按針町

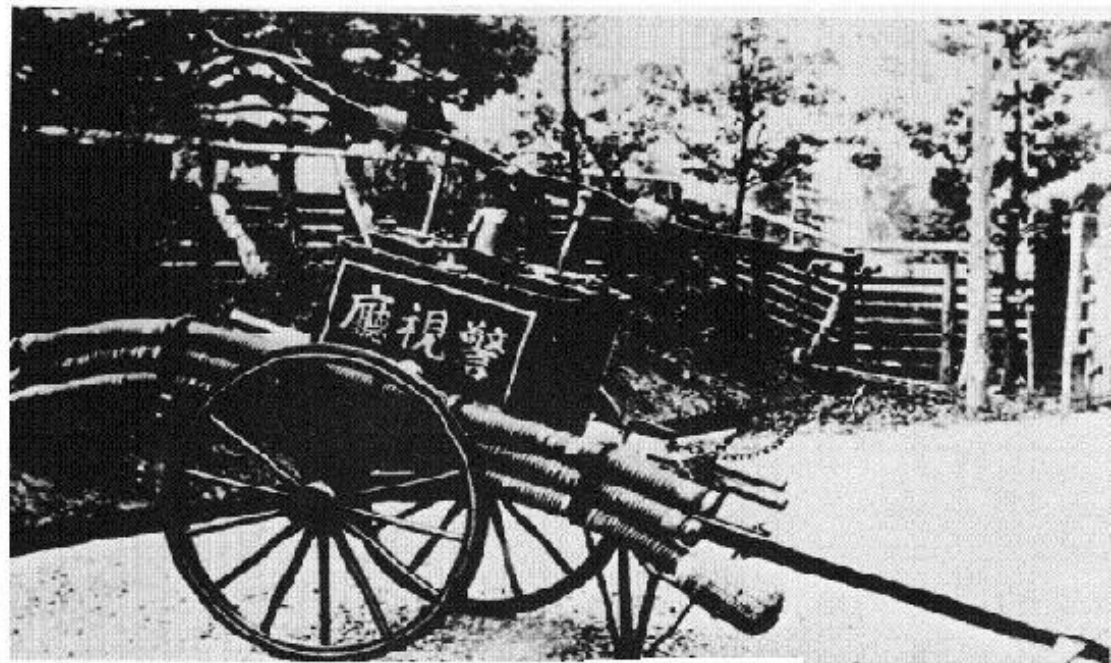
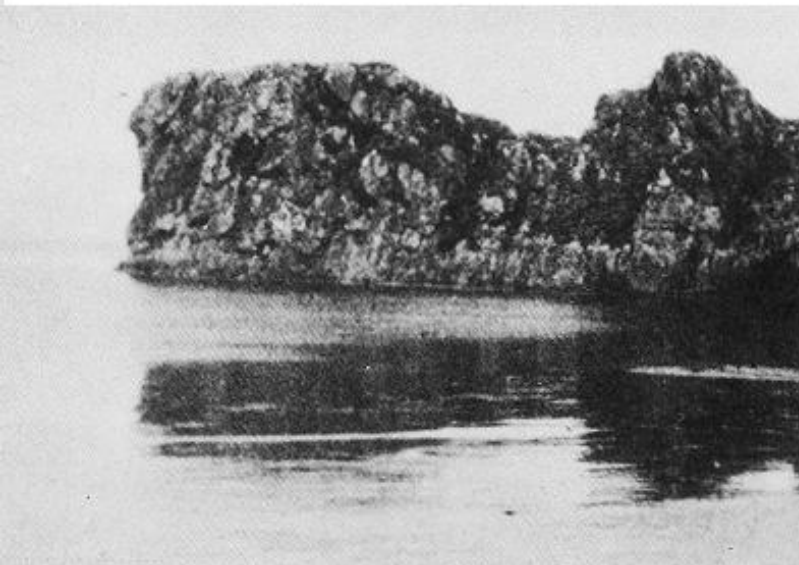


The Far East 1872.6.17 横浜都市発展記念館・横浜開港資料館『文明開化期の横浜・東京』

明治初年の日本橋近くの町並み



腕用ポンプ



山形県酒田市飛島婦人消防組

『写真図説 日本消防史』より



歌川広重 江戸乃華 19世紀はじめ
『浮世写真図説 日本消防史』 国書刊行会一九八四年

清府内は災災と脱まん若小住居智早也

津浦の入り口の津浦道とあることまは食の多き事

は比ふ落り死傷小多き事一物中余の數多

なるは津浦道より四方より小は下より食の數多

なる市又化而小多一物中津浦道の原枝の風小

止より長長長長長長長長長長長長長長長長長長

實事致長小多事より力多小多小多小多小多小多

多しなり一とらふも世情又改よりまはれ今

暑小ありえ一化地をまのへ小あり一も

物小多小多事より小せん災災災災災災災災災災

又津浦道の入り口の津浦道とあることまは食の多き事



△折を免着のりは法書不物とあることまは食の多き事

まふ二年春末のりは法書不物とあることまは食の多き事

のりは法書不物とあることまは食の多き事

○天保之辰年二月武蔵守を司務り因て去年七月百文燬を司務り

○同七年法書不物三月以百文月未食命八夕親死りのを多し一見より

茶七十六年辰辰天明之年百文月未食命八夕親死りのを多し一見より

○同七年法書不物三月以百文月未食命八夕親死りのを多し一見より

○同七年法書不物三月以百文月未食命八夕親死りのを多し一見より

○同七年法書不物三月以百文月未食命八夕親死りのを多し一見より

○同七年法書不物三月以百文月未食命八夕親死りのを多し一見より

○同七年法書不物三月以百文月未食命八夕親死りのを多し一見より

燒跡見舞圖





『風俗画報』186 明治聖世消防図会、明治32年4月



明治末年の警視庁蒸気ポンプとはしご車 - 挽馬



西神田大火(大正2年)の際の蒸気ポンプ

東京・西神田の大火で、消滅する甚久堂焼肉

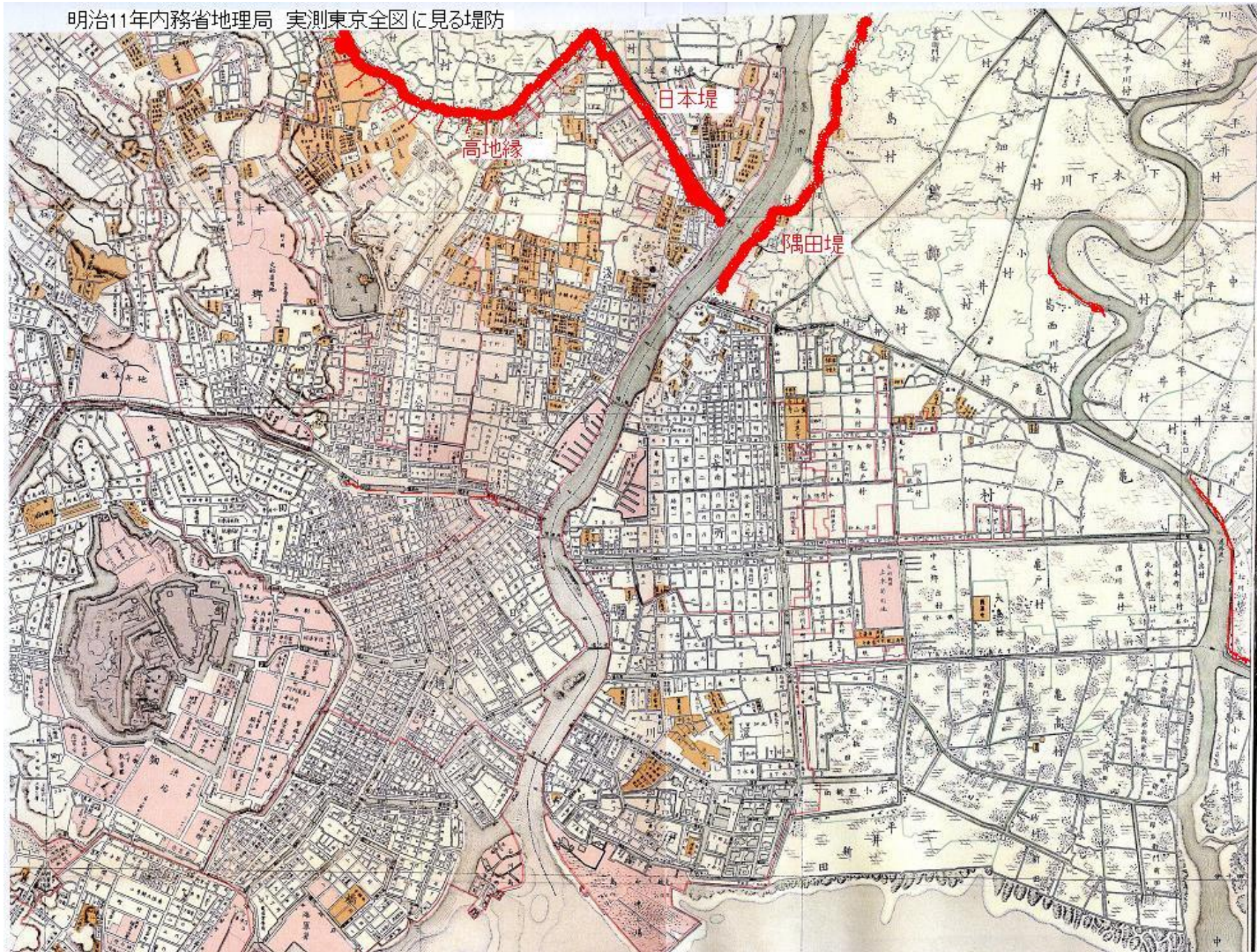
『写真図説日本消防史』

銀座煉瓦街 四丁目交差点
から京橋方向



The Far East 1874.6 横浜都市発展記念館・開港資料館『文明開化期の横浜・東京』(有隣堂、2007)

明治11年内務省地理局 実測東京全図に見る堤防





写真(『荒川下流誌 資料編』より)

『荒川下流誌 資料編』 荒川下流誌編纂委員会編著 東京 リバーフロント整備センター出版 東京 山海堂販売(2005年2月)3頁、写真1



機械掘削

人力(トロッコ)運搬



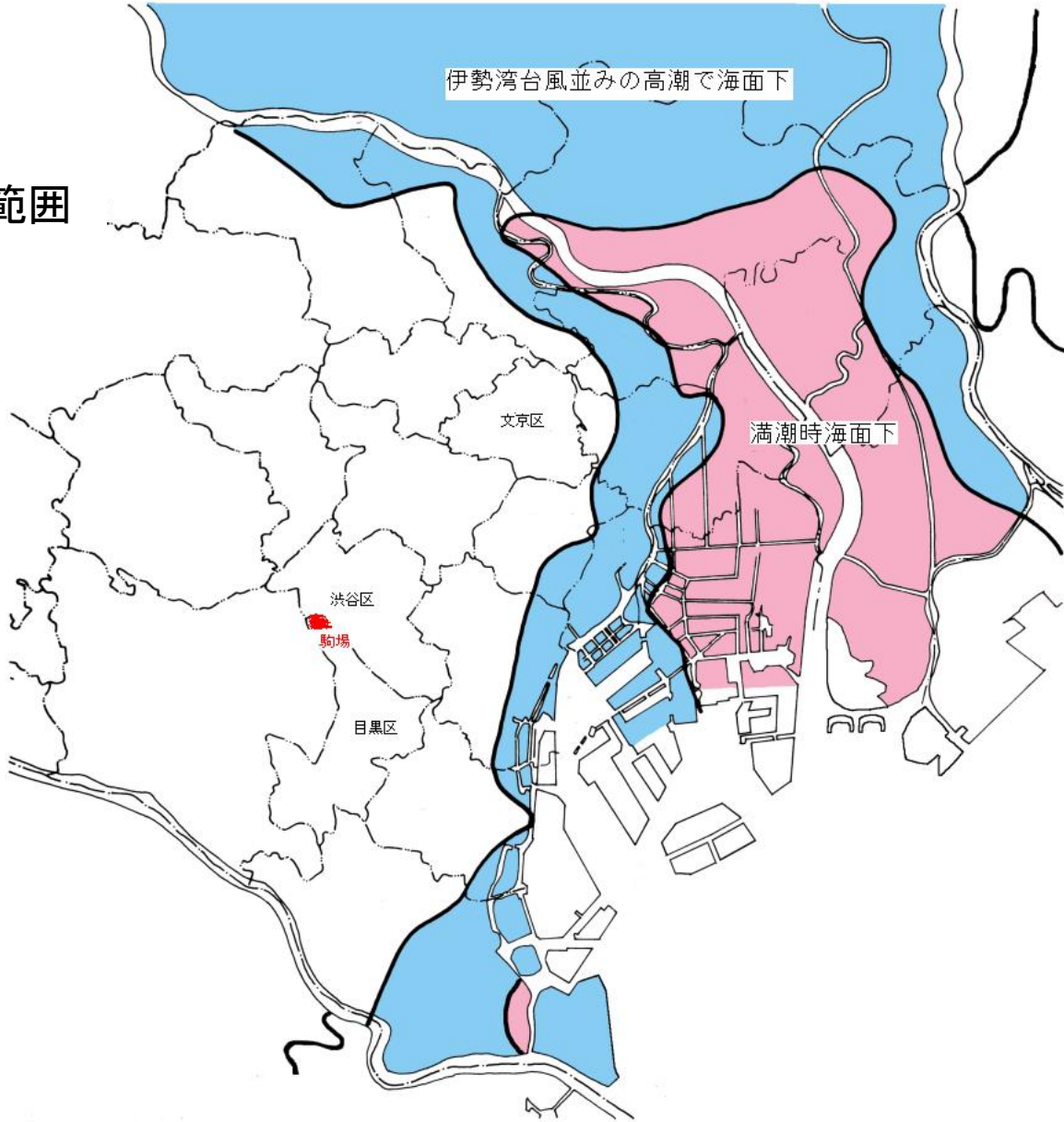
荒川放水路工事



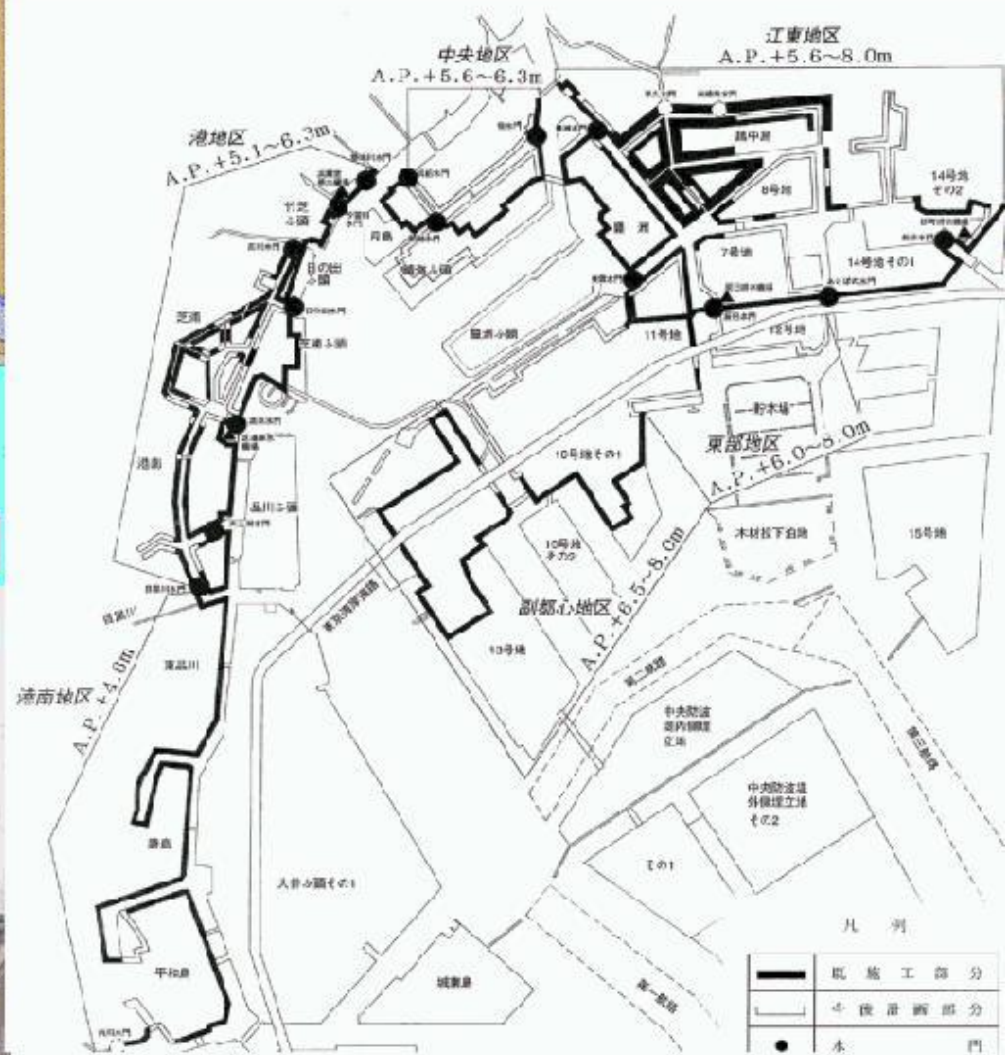
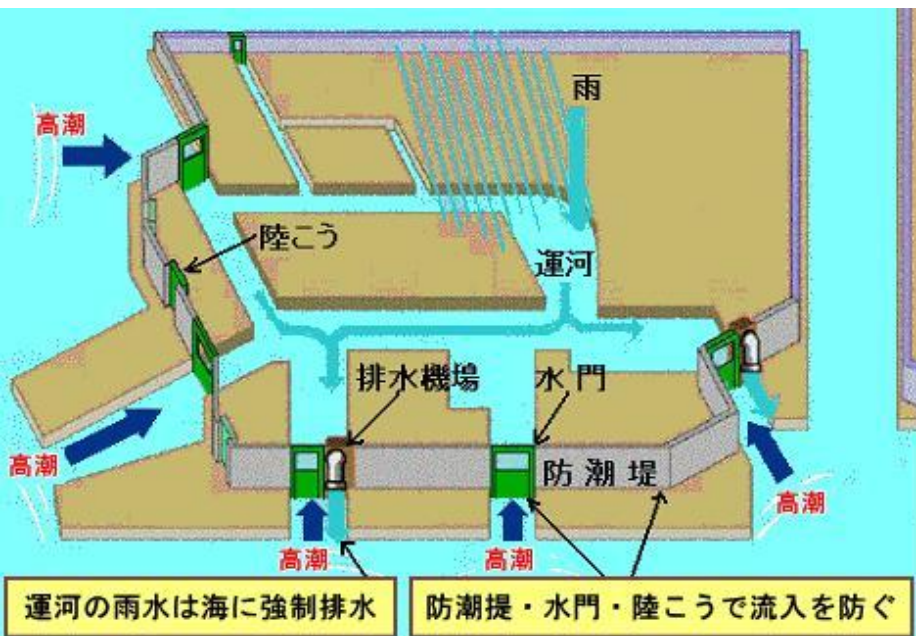
浚渫船



高潮危険範囲



高潮対策



左上図

‡ 東京都港湾局HP <http://www.kouwan.metro.tokyo.jp/jigyo/takashio/katsudou/katsudou-top.html>